

# しゅうれんかい (修練会) からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2017年12月7日号 (通算第37号)

## 子どもたちへ (小さなお子さんには読んであげてください)

今年も残りの日数が少なくなりました。「終わりよければすべてよし」ということわざがあります。難しい言い方では「有終の美を飾る」(ゆうしゅうのびをかざる)ともいいます。意味は、「途中では苦しいことや失敗があってもやり抜き、最後をしっかりとまとめましょう(しあげましょう)」ということです。

2学期がもうすぐ終わります。有終の美が飾れるように、途中のことややり残していることがあったらもうちょっと頑張っ、まとめをしっかりとやりましょう。そして、いい気分で新しい年を迎えましょう。



## 大人の皆様へ (パパ&ママ、ジジ&ババ)

「有終の美を飾る」は、「詩経」の「初め有らざるなし克く終わり有る鮮し(はじめあらざるなしよくおわりあるすくなしと読み、初めは誰でも計画を立て一生懸命やるが、それを最後までやり遂げる人は少ないという意味)」に由来していると言われていています。



お子さんが2学期の終業式のあと、作品や期末テストを持ち帰ります。通知表を貰ってきます。できない、不十分なところに目が行きがちですが、まず「最後まで頑張ったこと」と「良かったところ」を大きく褒めてあげてください。それから「こうするともっとよくなるよ」と少しだけ注文を付けるようにしてください。

褒められて嬉しくなり、新年の3学期は「頑張るぞ!」とやる気を出して、お正月が迎えられると思います。

## 学校の先生がたへ

「詩経」は西周時代に孔子が編集した中国最古の詩篇です。「有終の美を飾る」の類語に、「掉尾を飾る(ちょうびをかざると読み、物事の終わりをしっかりと締めくくるという意味)」があります。ちなみに、英語には「to make one's month(最後においしいものを食べて食事を終える)」とか、「crown one's career with a triumph(大成功で生涯の有終の美を飾る)」という表現があるそうです。

ところで、学級通信に子供の作品などを載せたり、良い作品を教室の壁に張り出したりして紹介してきたと思います。2学期に、学級新聞に1度も載らない子供はいませんか? 作品が1度も貼り出されていない子供はいませんか? もう一度確認して、最後の調整をしてあげてください。子供は、先生の優しい思いやりにきっとホッコリとした気持ちになることでしょう。

誰に対しても「公平」(差別をしない、仲間外れにしない)で、「平等」(一部に偏らない、依怙鼻息をしない、全員に同じようにする)であることが、重要です。「公平」で「平等」な教室の中で育った子供は、きっと「公平」で「平等」な行動のできる人間に育つでしょう。



★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」や「至楽荘」の利用の仕方、「成美教育文化会館」の会場貸出など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。

